



第2522回例会（17/18年度第5回）

平成29年8月4日（金）

■ 点鐘並びに開会宣言～黒川 俊一会長

■ 斉唱 ～ソングリーダー 堀越 毅会員

国歌「君が代」 Rソング「奉仕の理想」

■ お客様紹介 ～親睦活動委員会 鈴木 方子委員

石塚 勝 様（川崎鷺沼 RC）

小川 湧三 様（川崎鷺沼 RC）

都倉 八重子様（川崎中原 RC）

■ 会長報告 ～黒川 俊一会長

①湯川孝則ガバナーより「温かくお迎え頂き、誠に有難うございました」との公式訪問のお礼状が届いております。

②地区よりクラブ雑誌委員長会議開催の案内が参っております。

日時：8月29日（火）、場所：メモリアルプラザソシア 21

③クラブ奉仕委員長会議の案内が参っております。

日時 8月21日（月）

場所 メモリアルプラザソシア 21

④2019年規定審議会「制定案」および2018年決議審議会「決議案」の提出の依頼が参っております。

提出期日 2017年9月15日（金）

提出される場合は幹事までご連絡下さい。

⑤ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）パート I 開催案内が参っております。

日時 9月10日（日）8：30～16：30

場所 聖光学院中学高等学校

締切 9月1日（金）

⑥ガバナー事務所の夏期休暇は8月14日（月）～16日（水）です。

⑦区民祭パレードに参加頂いた花山幸子フラ教室より「皆様の心配りに感謝します」とのお礼の

メールが届いております。

⑧ふれスタ実行委員会より「ふれあいフェスタ in TAKATSU」の案内状が参っております。

日時 8月27日（日）9：30～16：10

場所 市立中央支援学校（旧市立養護学校）

⑨川崎北 RC より訃報が参っております。同クラブ岡本徳彌会員のご息女様が7月26日にご逝去されました。（享年61歳）

■ 幹事報告 ～上松義典幹事会報裏面をご覧ください。■

各委員会報告

□ 出席委員会

本日	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2522回	71名	69名	62名	7名	91.2%
前々回修正		メキヤップ 1名		20名	70.1%

□ 親睦活動委員会 ～佐野 和人委員長

8月18日の納涼家族会の出欠が未だの方は回答をお願いします。酒奉行もよろしくお祈いします。

□ 社会奉仕委員会 ～田中 宏幸委員長

7月30日（日）の高津区民祭は、会員35名、歯科医師会22名、歯科衛生士学校の生徒70名が参加し、盛大に行うことが出来ました。ご協力ありがとうございました。

□ 雑誌委員会 ～鈴木 敬一委員長

・横組 P3 RI 会長メッセージ

・横組 P8～13 会員増強・新クラブ結成

これまでの殻を破る

・縦組 P23 歌壇 吉田恵一会員の歌

■ 卓話 「ガバナー年度を振り返り、そして未来に向かって」～高良 明 直前ガバナー 感謝

皆様の温かいご支援により、1年間ガバナーとしての任務を無事終えることができました。心より感謝申し上げます。この度の経験は、私の人生にとりまして、様々な気づきと教えを賜ることができ、貴重な体験となりました。いろいろ皆様にはご迷惑をおかけしましたが、ガバナーという重責役柄に免じてお許しください。本日は「ガバナー年度を振り返り、そして未来に向かって」と題してお話したいと思います。時間までお付き合いのほどお願いいたします。今後のクラブ運営の参考になれば幸いです。



基本姿勢

昨年6月17日に「高良明ガバナー激励会」を開いていただきましたが、その際斉藤二郎 PG のご挨拶の中に、ガバナーについてのお話がありました。ガバナーの選出方法やガバナーになるための資格、あるいはガバナー本人の心構えといった内容でした。心構えとして、ガバナーはその年度の国際ロータリー唯一の役員であり、ガバナーの代理はきかないので、**健康には十分気を付けること**、そして「**私心を捨て、ロータリーに尽くす**」決意で臨みなさい、といったお話でした。健康には気を付けろ、私心を捨ててロータリーに尽くせ、そんな無茶などと言っていいような重い厳しいお言葉でした。

そこで私は昨年ガバナー年度に入るにあたり、次の3つをそれぞれ基本姿勢として覚悟を決めました。

健康面については

1. 深酒はしない（お酒は川邊さんにお任せする）
2. 早く寝る（習慣的に早寝早起きなので比較的容易だった）
3. 人の中傷や批判など他人を気にしない（やはり他人の目は気になる）

私心を捨てたロータリーへの奉仕については

1. 川崎西 RC の伝統と威信に恥じぬこと
2. 自分の信念を貫くこと
3. 新たな挑戦をすること でありました。

1. 川崎西 RC の伝統と威信に恥じぬこと

川崎西 RC は 50 年の歴史を経て、これまでに 3 人のガバナー（故・鈴木克也氏、故・鈴木清次氏、斉藤二郎さん）を輩出して参りました。地区としても川崎西 RC は大変大

きな存在であります。私がノミニーとしてご指名を受けた時には鈴木清次さんはご存命でいらっしゃいましたが、川崎西 RC の名を絶対に汚してはならない、こういう強い決意で臨んだわけでありました。斉藤二郎 PG に相談役になっていただき、川邊さんには地区幹事になっていただきまして、随時迷ったときや悩んだ時など身近に相談させていただきました。大変助かりました。

事にあたって「堂々」と振る舞い、「誠意」と「熱意」を忘れることのないよう肝に銘じました。そのためには、やはり事前の**情報キャッチと準備**は絶対に必要です。

私は準備に相当の時間をかけました。それぞれの課題の本質を外さないようにまとめ、何度も推敲を重ねました。ほぼ毎日夜中には目が覚め、気づいた点や漏れている個所などメモを取った次第です。是非皆さんも事にあたって大事なときは、①問題は何か②その問題の本質や目的は何か③何をいつまで準備をすればよいか、等を考慮して真剣に考え対処することが大事だと思います。

2. 自分の信念を貫く

川崎西 RC の伝統と威信に恥じぬことと合わせて、**高良らしさ**を醸し出さなければならない、ということから私心を捨てる覚悟で「**自分の信念を貫こう**」と決意しました。完璧な人間なんかだれ一人いませんので、どんな批判や中傷にも耐え、受け入れる覚悟を決めました。

■そこで、「当地区の現状問題は何か？」と問うたとき、前例主義、お題目主義、形式主義といった言葉に代用されるような状態で無難で何となくクラブ運営しているクラブが多いと思いました。これからどのように変革推進すべきか？自問自答悩みに悩んで地区方針を形にいたしました。

「**組織は人なり**」、いかなる組織においても人が中心であり、ましてやロータリークラブは親睦と奉仕を基本軸とする仲間の集まりです。この集団組織を「**楽しさ**」「**やりがい**」「**自分らしさ**」の発揮を通じて、地区方針を「**クラブの魅力創りと活性化**」と掲げ年度のスタートを切ったわけです。

■まず私は「**ガバナーマンスリー**」と「**ガバナー公式訪問**」に最大の力点を置きました。ガバナーマンスリーは後々何度も目に触れることができるものであり**文書の記録**になり、またクラブへの公式訪問はたった1回限りの各クラブのメンバーとの接触の出会いで**心の記憶**になるからです。

■「**ガバナーマンスリー**」には、鈴木克明地区副幹事の企画構成や編集後記、堀越さんの印刷には大変お世話になり

ました。

「表紙の日本画」の掲載は、「花」を題材に以前私が描いたもので、会員一人ひとり幸福で独自の輝いた人生を、各クラブが魅力ある輝かしい運営をしてほしいとの願いを込めたものです。

ガバナーメッセージには職業奉仕を中心に月間テーマについて述べ、併せて「職業奉仕・事業改革の偉人世伝」を鈴木正三から井坂孝さんまで12回にわたって連載しました。職業奉仕と「不易流行」の思想をにじませながら私の思いを書いたつもりです。もう一度読み直していただければ幸いです。

■「ガバナー公式訪問」は180人からの会員を擁する横浜RCからスタートを切ったわけですが、わがクラブの12月9日を最後に57クラブすべて遺漏なく回ることができました。

とくに印象に残ったクラブをいくつかご紹介します。

①**横浜泉 RC**、このクラブは地区大会でもご紹介しましたが奉仕クラブとして大変すばらしいクラブ運営をされています。身体の不自由な方が働く「共働舎」にて毎週例会を開き、食事は彼らが作ったパンが主で、また配膳も彼らが行っております。またクラブは彼らを様々な点からサポートするといった具合で、それこそ奉仕のコラボレーションをしているわけでありです。大変感動して帰ってきました。

②**新横浜 RC** は新横浜国際ホテルで例会を行っていますが、食事の際の箸は「マイ箸」で各人のネーム入りです。したがってSAAの権限でテーブルに箸が置いてあり、各人が勝手に動かすことができません。最近SAAの存在が薄い中、きちんと例会運営されていると感心しました。

③**横浜瀬谷 RC** では、月1回露木PGが参加者の意見を引き出しながらロータリー談義を行って、比較的ロータリー歴の短い方にRLI的なミニ研修を継続して行っています。**横浜田園 RC** では月1回経営勉強会を開いており、職業奉仕の実践版研修を行っております。

こういった特徴のあるクラブがある反面、なんとなく惰性で例会を行っているようなクラブも多数見受けられました。

私の卓話中に回覧を回したり、事務局員が動いたりするクラブが若干ありましたが、このような行為はあまり芳しくありません。

またクラブ例会前に30分ほど会長幹事との事前打ち合わせがありますが、幹事が時間に遅れたり、欠席したりするクラブもあり、クラブの姿勢に問題があると感じました。

こういったクラブは会員が低迷し活力がありません。

■また期首資料「活動計画書」ですが、わがクラブは大変立派ですが、中には会長と委員長との方針が違っていたり、予算が縦横計算間違っていたり、誤字脱字があったり、閉じ方が前後間違っていたり、前年度の文言をそのまま写したり、大変お粗末なクラブの活動計画もあります。やはり活動計画書は大事でして、1年間のクラブ運営の指針となりますので、しっかりと魂を入れて作成しなければなりません。また手続き要覧はこれまでと異なり大変薄っぺらになってしまいましたので、より充実したものにして研修にも使えるようにするとよいと思います。手続き要覧は第1部が「ロータリーの使命の遂行」でして、基本理念として最初に「決議23-34」が掲載されています。まだ反故にはなっていません。わがクラブの活動計画書には以前掲載されていましたが、是非もう一度掲載して頂きたいと思います。

3. 挑戦する

私は様々な新たな挑戦を試み、いろいろと変化の激しい年度となりました。

昨年4月の規定審議会では、ロータリークラブ運営の柔軟性を大幅に認める変更（会員の要件、例会の方法、出席要件の緩和、入会金規定の廃止、複数の会員種類の提供など）がなされました。これを受けて当地区では数回の説明会を実施し、その後各クラブに「アンケート」を行いその実態を把握し、各クラブに公開致しました。わがクラブのアンケート結果が期限を過ぎたのには、ガバナーズクラブとして正直残念でした。どうかわがクラブも、今後原理原則を尊重しつつ、社会の変化にどう対応するか、安易な変化に流されず、しかも社会の変化に順応するいわば「不易流行」をクラブ運営に反映していく姿勢が大事だと思います。

未来に向けて

以上、私なりに「知行合一」の精神でガバナーとしての任務を遂行し変革の一端を試みましたが、不十分な点が多々あったことお許し頂きたいと存じます。

残りの時間、「今後のクラブ運営において何が大事か？どうあるべきか？」について私見を述べさせていただきます。

■「魅力あるクラブ」とは、多様な会員が集い親睦を深めながら、価値ある情報交換、奉仕活動を行い、会員それぞれが自分の人生にとって為になり人格を高められるようなクラブだと思います。かつロータリーの理念や目的を理解

し、進むべき方向性(夢、ビジョン)に向かって「楽しく」、
「やりがいがあり」「自分らしさが発揮できる」ようお互いの多様性を尊重するクラブであると思います。すなわちRI戦略計画の中核的価値観の「親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ」が叶えられるクラブとってよいかもありません。

魅力あるクラブ創りには、将来わがクラブはどうしたいか、どういう状況を創りたいか、といったクラブビジョンを策定することが大事です。それによって現状との差、つまり乖離を埋めるための戦略計画を作成する必要があります。活気のないクラブは皆クラブビジョンや戦略計画がありません。

その前提として、「会員増強」と併せて、会員同士の「情報交換」や「研修」を行い、そして「親睦」による心の通ったコミュニケーションが求められます。

①会員増強：会員増強は会員の高齢化に伴い必ずクラブの存続のために必要なことです。私自身今年度に入り久保田さんを紹介させていただき、前年度は他のクラブを含めて3人推薦紹介しましたが、各会員が全員で取り組んでいく必要のある奉仕活動です。今後は会員増強委員長任せにせず、会長の陣頭指揮の下、全員で行動していかなければなりません。よろしく願いいたします。

②情報交換：職業分類に基づいた情報交換をもっと行うべきです。例会時の卓話にせよ、ミニ情報など会員の専門情報などもっと活発に行うことが必要です。また地区では「卓話バンク」を設定しましたので、他クラブの専門家を呼んで大いに活用してください。

③研修：研修は絶対に必要です。ルールを知らずスポーツやゲームはできませんし、経営の基本やある程度法律、経理を知らずに事業経営はできないように、ロータリーもその目的や本質、基本を知らずロータリーライフを楽しむことはできません。今まで一方的な講演形式が多かったのですが、このほど地区で導入した **RLI** 方式の研修が大変役に立つと思います。ファシリテーターは、一方的な話はせず、参加者の意見を引き出すように進行し、またそれは違うとかダメとか言ってはならず、その方の意見を尊重するスタイルです。新会員も経験の長い方も皆同じ目線です。大変安全であり、忌憚のない意見が出ますので勉強になります。わがクラブもこの形式の研修を取り入れるとよいと思います。今年度も地区では継続しますので、大勢参加してください。

■最後に申し上げたいことは、「たかがロータリー、されど

ロータリー」と言われていますが、「されどロータリー、これぞロータリー」と更にクラブの独自性高めて、事業経営と同じように真剣に取り組んで頂きたいと思います。

「恒産なくして恒心なし」(孟子)と言われるように、職業を立派に安定して成り立たせなければ安定した道義心は生まれません。

経営が行き詰まったとき、皆さんはどうされますか?
きっと望ましい「こういう状態にしたい」と思うでしょう。また行き詰った原因を探り、反省をして打開策を講じるでしょう。一人で悩まず、協力者を求め目標を設定して、団結を求めるでしょう。それが戦略計画というものです。ロータリークラブも全く同じです。会員は年々歳を重ね高齢化していきます。放っておけばクラブは陳腐化します。会員増強は日々毎年着実にやっていかなければなりません。いつも若返りが必要であり、若い会員にロータリーの真髓やノウハウを伝承していかなければなりません。これが真の伝統づくりです。それを皆で計画を立て実践していく必要があります。

人間は互いに尊重し合って、より善く生きていくことが大切です。「過去と他人は変えられないが、今ここから始まる未来と自分は変えられる」と言われるように、一人ひとりの自覚が大切です。とくに若い人の力がどの組織でも求められる今日、決議 23-34 に書かれている「奉仕の理論が職業及び人生における成功と幸福の基礎」であることをよく学び理解して、わがクラブも更に魅力あるクラブにしてまいりたいと思います。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。